

宣誓

太陽の光が満ち溢れ、命が生き生きと活動を始める春。今日、この良き日に、長野吉田高等学校の入学式を迎えられることをとても嬉しく思います。

先日、私たちは中学校を卒業しました。昨年度もやはり新型コロナウイルスが大きな影を落としました。規模縮小を余儀なくされた文化祭。県内となった修学旅行。歌えなかった卒業式。様々なものが制限され、つらく悔しい思いをしたのは、私だけではありません。ですが高い壁に阻まれても、自分のすべきことを見失わず、突き進んできた私たち。そんな私たちが培ってきた力は強く、高校生活を通してさらに向上させていく決意です。

私は班活動と学習の両立をこなしている先輩方に憧れ、また自分もそのようになりたいと思い長野吉田高等学校を志望しました。班活動では7年間続けてきたバレーボールを、勉強では自分の得意教科を伸ばすため頑張っていきたいです。私にはまだ夢がありません。将来就きたい職業もやりたいことも、まだ不透明なままです。ですが3年間の高校生活での新たな経験を通して、多くのことを得ていき、自分自身の手で道を切り拓きたいです。

世界ではロシアのウクライナ侵攻によって大きな混乱が生じています。日々の生活が一瞬にして奪われ、たくさんの命が犠牲になっています。私たちが今日、入学式を迎えられたこと、私たちが今日、こうして出会えたことは、決して当たり前ではありません。先輩方、先生方ならびに来賓の方々、今日はこのような式典を開いていただき誠にありがとうございます。私達の事を温かく、そして時に厳しくご指導していただきますようお願いいたします。

新入生一同、長野吉田高等学校の生徒であることに自覚と誇りを持ち、自立した高校生活を送ることをここに誓います。

令和4年4月6日